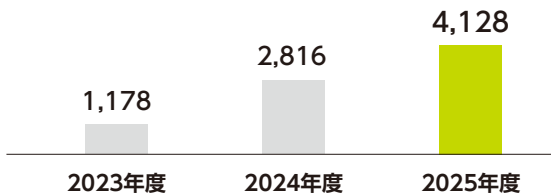


## 財務ハイライト (フィデアホールディングス 連結)

(2026年3月期)

### 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



#### 経常収益

560億円

前期比  
+29億円

#### 経常利益

54億円

前期比  
+12億円

#### 自己資本比率 (国内基準)

9.85%

前期比  
+0.36pt

#### ROE

5.06%

前期比  
+1.61pt

#### 貸出金残高 (2行合算)

1兆9,861億円

前期比  
+542億円

#### 総預金残高 (2行合算)

2兆6,781億円

前期比  
▲187億円

#### 有価証券残高 (2行合算)

4,010億円

前期比  
▲1,647億円

#### 預かり資産残高 (2行合算) (投資信託+公共債+生命保険)

4,196億円

前期比  
+361億円

## 株主還元方針

当社は、株主還元の充実を目的として2026年5月に株主還元方針を変更いたしました。

グループの中核事業である銀行業をはじめとした各種事業の公共性を鑑み、長期的視野に立った経営基盤の確保と持続的な利益の成長に努めながら、2026年度より累進的配当を行うことを基本方針とします。

配当性向は、親会社株主に帰属する当期純利益の40%程度を目標といたします。

## 1株当たりの配当

FIDEA フィデアホールディングス株式会社

	中間配当	期末配当	年間配当	配当性向
2026年度 (予定)	37.50円	37.50円	75.00円	42.3%
2025年度 (実績)	37.50円	37.50円	75.00円	32.7%

## 株式のご案内

証券コード	8713 (東京証券取引所 プライム市場)
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度の終了後3カ月以内に開催
単元株式数	100株
配当基準日	期末配当: 3月31日 中間配当: 9月30日
公告方法	電子公告 電子公告による公告ができない場合は、河北新報、山形新聞、秋田魁新報、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 (お問い合わせ先) みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 (東京都千代田区丸の内一丁目3番3号)

▶詳しくは当社ホームページ  
「株主・投資家情報」をご覧ください。  
<https://www.fidea.co.jp/investor/>



## 事業のご報告

2026年3月期



「信頼の輪で結ばれた、地域と共に繁栄する金融グループ」  
FIDEs (ラテン語: 信頼) × Alliance (英語: 連携)  
「一人ひとりの情熱と知恵と挑戦で、東北を幸せと希望の産地にします。」  
Financial × IDEA (金融のアイデア、創意工夫)

## ごあいさつ



フィデアホールディングス株式会社  
代表執行役社長 CEO  
新野 正博

株式会社荘内銀行、株式会社北都銀行  
代表取締役頭取  
佐藤 敬

平素より荘内銀行、北都銀行をはじめフィデアグループ各社に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当グループは、「一人ひとりの情熱と知恵と挑戦で、東北を幸せと希望の産地にします。」という経営理念のもと、地域のお客さまに寄り添い歩んでまいりました。そして2027年1月には荘内銀行と北都銀行の合併を予定し、新たに「フィデア銀行」が誕生いたします。

2026年4月からは「第6次中期経営計画」を始動し、「地域のために 地域をつなぎ ともに歩む」をテーマに掲げ、合併による営業基盤拡大と資金供給力向上を活かした課題解決支援を一層強化いたします。

今後も地域のお客さまのご支援と地域の持続可能な成長に注力してまいりますので、

変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

## フィデアグループ概要 (2026年 3月31日現在)

### フィデアホールディングス株式会社

設立	2009年10月1日
本社所在地	宮城県仙台市青葉区中央三丁目1番24号
資本金	180億円

### 荘内銀行

創業	1878年12月1日(第六十七国立銀行)
本店所在地	山形県山形市本町一丁目4番21号
拠点数	30(ブランチインブランチ方式による統合店を除く)
従業員数	961人(出向者および臨時雇用者を含む)

### 北都銀行

創業	1895年5月3日(株式会社増田銀行)
本店所在地	秋田県秋田市中通三丁目1番41号
拠点数	37(ブランチインブランチ方式による統合店を除く)
従業員数	924人(出向者および臨時雇用者を含む)

- フィデアカード株式会社
- フィデアリース株式会社
- 株式会社フィデア情報総研
- フィデアエナジー株式会社
- 株式会社フィデアキャピタル

## 第6次中期経営計画の概要

〈計画期間〉2026～2028年度(3年間)

### 地域のために 地域をつなぎ ともに歩む

～変革を力に 専門性を高め 持続的成長へ 新フィデアの挑戦～

#### 重点施策

- コンサルティングの深化
- 地域金融から地域価値創造
- コア収益の再構築
- グループ再編の完遂による経営基盤の強化

#### 目標 経営指標 (2028年度)

- 連結純利益 **60**億円程度
- 連結ROE水準 **6**%以上
- 自己資本比率 **10**%以上

## 合併を契機としたお客さま支援の拡充



合併を活用し  
お客さま支援を  
更に強化

#### 広域性

- 両行が持つ有益な情報の共有や広域のネットワークを活用し、お客さまの成長を支援します

#### 規模拡大

- 資金供給力の向上をお客さま支援に活用します

### 強み・ノウハウの融合

2027年1月 合併<sup>(※)</sup>



#### 専門性

- 両行の強み・ノウハウの融合により専門性を更に向上させ、お客さま支援に活用します

#### グループ総合力

- 両行に加え、グループ会社の強み・ノウハウ活用によりグループ総合力を強化し、お客さまの成長を支援します

- お客さまの課題解決力の向上
- 多様なソリューションメニューと広域ネットワークを活用した最適な提案機会を創出
- 地域・世代を超えた伴走支援

## お客さまへの提供価値の向上へ

## フィデアレポート

### 地域でのスタートアップを支援



荘内銀行は、鶴岡市や経済・産業団体、鶴岡工業高等専門学校と金融機関の産学官金連携で、株式会社野村総合研究所とともに事業創出を支援する「鶴岡イノベーションプログラム」に参画しております。

新事業の創出と創造的起業家の育成を目的としており、2022年の取り組み開始から3期通算で、18件の革新的事業アイデアを生み出し、そのうち10件が事業を開始しています。



北都銀行は大和リース株式会社協賛のもと、秋田県における起業・創業を創出する新規事業提案コンテスト「起業家ピッチチャレンジ in AKITA」を開催いたしました。

秋田県内の地域課題解決や地方創生に資する革新的なビジネスプランを持つ起業家の発掘を目的とし、事業の実現性と継続性を高めるためのアドバイスを受ける機会を提供することで、秋田の次代を担う起業家の誕生を後押ししております。